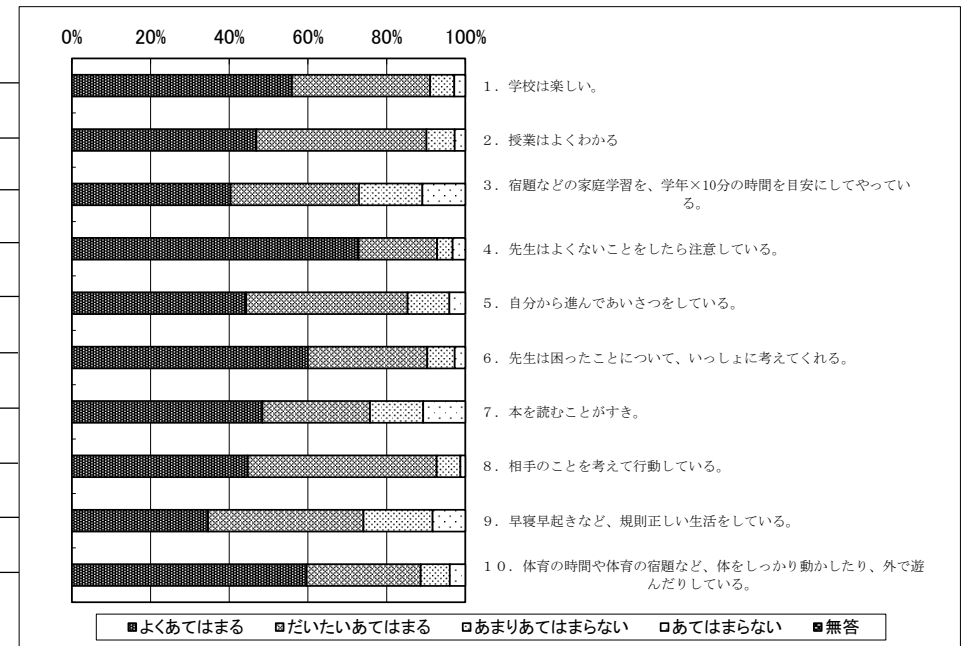
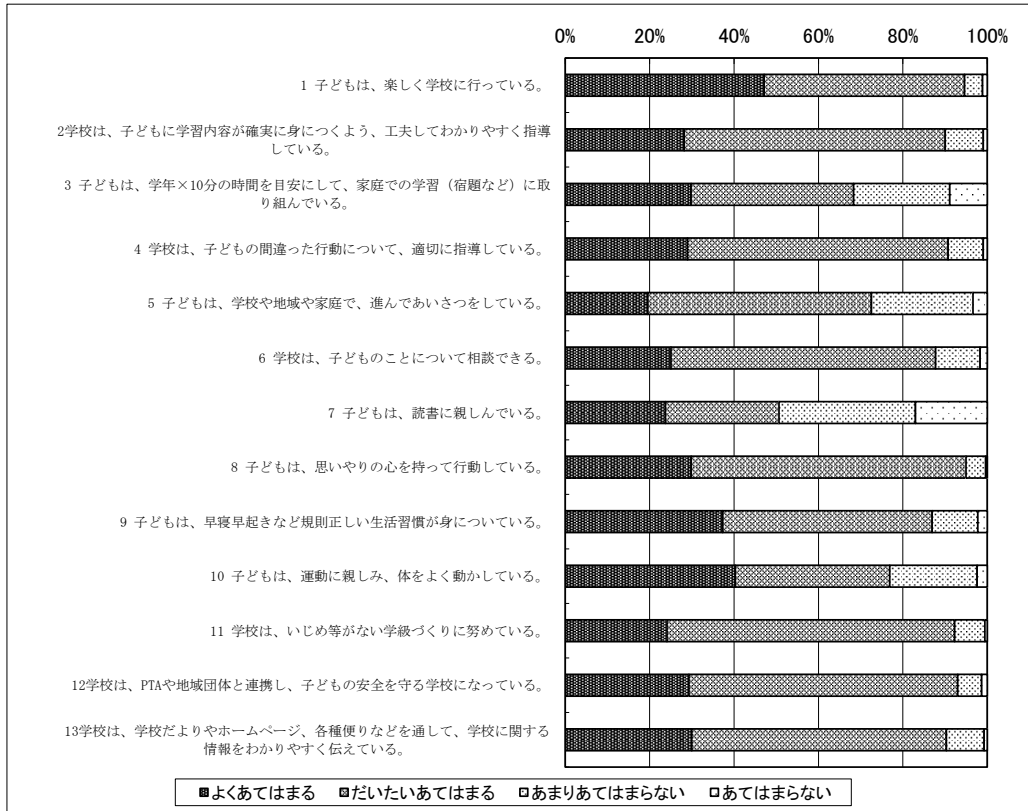


令和5年度 保護者・児童アンケート集計結果

昨年11月にはアンケートに協力頂きありがとうございました。アンケートの結果については、児童、保護者ともに「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を肯定的評価、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」を否定的評価と捉えて結果についてまとめています。
保護者アンケートの項目と対応する児童アンケートの項目には———を結んでいます。



◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価が特に低かったのは、「7. 子どもは、読書に親しんでいる」で50.7%（昨年度49.3%）でした。これに対応する児童アンケート「7. 本を読むことが好き」の結果は、肯定的評価の割合が75.8%でした（昨年度78.1%）。

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価が2番目に低かったのは、「3. 子どもは、学年×10分の時間を目安にして、家庭での学習に取り組んでいる」で、68.3%（昨年度65.2%）でした。これに対応する児童アンケート「3. 宿題などの家庭学習を、学年×10分の時間を目安にしてやっている」の結果は、肯定的評価の割合が73.0%でした（昨年度71.2%）。

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価が3番目に低かったのは、「5. 子どもは学校や地域や家庭で、進んであいさつをしている」で、72.6%（昨年度70.5%）でした。これに対応する児童アンケート「5. 自分から進んであいさつをしている」の結果は、肯定的評価の割合が85.3%でした（昨年度84.2%）。

本校では、昨年度のアンケート結果を踏まえ、今年度は特に地域学習の充実や「書くこと」を中核とした授業改善、生徒指導上の問題行動の未然防止教育の充実について重点的に取り組んできました。これらの取り組みが、アンケート結果の肯定的評価の割合が高かった項目と関連していると考えています。

肯定的評価が低かった3項目（読書、家庭学習、あいさつ）については、学校の考え方や取り組みをより一層周知していく等して、学校と家庭、地域と連携のもと、改善を図りたいと考えています。

〔結果のまとめ〕

◆保護者アンケートの回収率は、54.0%でした。児童アンケートの回収率は96.0%でした。

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が最も高かったのは、「8. 子どもは思いやりの心を持って行動している」で、95.0%（昨年度91.0%）でした。これに対する児童アンケート「8. 相手のことを考えて行動している」の結果は、肯定的評価の割合が92.7%でした（昨年度90.8%）。

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が2番目に高かったのは、「1. 子どもは楽しく学校に行っている」で、94.6%（昨年度90.9%）でした。これに対する児童アンケート「1. 学校は楽しい」の結果は、肯定的評価の割合が91.1%でした（昨年度90.8%）。

◆保護者アンケートの項目の中で肯定的評価の割合が3番目に高かったのは、「12. 学校は、PTAや地域団体と連携し、子どもの安全を守る学校になっている」で、93.0%（昨年度91.0%）でした。